

## 救急車 遅れる - 西日本防災システム

2013 10 05

10月5日横浜市消防局は、8月に公園で意識を失った男性を救急搬送するために出動した救急車が、消防局司令センターの指令ミスで引き返し、現場への救急車の到着が約10分遅れたと発表しました。男性は別の救急車で搬送されましたが数日後に亡くなったようです。横浜市消防局は到着の遅れと死亡との因果関係を調べているそうです。

横浜市消防局によりますと、8月11日午後2時50分頃、横浜市金沢区の公園で、「20代男性の意識、呼吸がない」との119番通報があり、2時53分、司令センターの職員が近くにいた磯子救急隊(磯子消防署)に出動を指示したそうです。

ですが、午後3時4分、別の職員が、同救急隊の走行位置を確認せずに幸浦救急隊(金沢消防署)の方が現場に近いと判断して出動を指示しました。その上で午後3時5分、現場の500~600メートル手前まで来ていた磯子救急隊に途中で引き返すよう指示しました。現場に救急車が到着したのは、午後3時16分頃だったようです。救急隊とは別に消防隊が3時5分に現場に到着し、心臓マッサージなどの処置を施していたようです。

消防局によりますと、この日は、熱中症による救急搬送が特に多かったようで、指令ミスした職員は「できる限り早く救急車を確保したいと焦ってしまった」と話しているようです。

同局のまとめでは、今年の横浜市内の救急車出動件数は13万827件(10月3日現在)で前年同日比4326件増で、データを取り始めてから過去最多となった平成24年を上回る勢いだそうです。全国的に見ても、近年は事件、事故に加えて、熱中症患者や高齢者の搬送が増加傾向のようです。



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 